

第1回 長浜市支え合いの地域づくり推進委員会

- 日 時：令和7年12月17日（水）14時00分から15時30分
- 場 所：長浜まちづくりセンター2階 多目的ホール
- 出席委員：北村隆子、藤森忠夫、伊吹清栄、石田孝男、田中道孝、山下憲昭、橋本文男、奥村宏明、上阪満、安原秀男、山岡伸次（敬称略）
- 欠席委員：伊藤彰宏（敬称略）
- 事務局等：長寿推進課長：河瀬、課長代理：星野、副参事：木下、本康、主幹：山岸、中川
長浜市社会福祉協議会：福本、藤田
南長浜地域包括支援センター：平尾
神照郷里地域包括支援センター管理者：川崎
浅井びわ虎姫地域包括支援センター管理者：北川
湖北高月地域包括支援センター管理者：丸岡
木之本余呉西浅井地域包括支援センター管理者：沢田

【配布資料】

- 資料① 委員名簿
- 資料② 支え合いの地域づくり推進委員会とは
- 資料③ 「介護予防・日常生活支援総合事業」について
- 資料④ どれみケア長浜
- 資料⑤ 長浜市生活支援活動の紹介

次第1：開会

【事務局】本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。開会にあたりまして、長寿推進課長の河瀬より挨拶を申し上げます。

【事務局：課長】 （挨拶）

【事務局】（配布資料の確認）

- （本日の会議日程、委員紹介と委員の任期等について、説明）
- （事務局職員と同席者の紹介）

次第2：委員長・職務代理者の選出

委員長・職務代理者の選出方法を委員にお諮りし、委員から事務局一任を提案いただき、事務局案の「委員長に安原秀男委員、職務代理者に北村隆子委員」を提案し、賛成多数にて承認を得る。

【委員長】(挨拶)

議事進行：委員長

次第3：報告・説明事項

- (1) 支え合いの地域づくり推進委員会とは (資料②)
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業について (資料③・資料④)
- (3) 生活支援体制整備事業実績報告 (資料⑤)

【委員長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】(1) 支え合いの地域づくり推進委員会とはについて、説明

【事務局】(2) 介護予防・日常生活支援総合事業について、説明

【委員長】ありがとうございました。ただいまの事務局からの報告・説明をふまえて、ご質問等いかがでしょうか。

【委員】総合事業の通所Bについて、これから要綱を作成していくのですが、地域のサロンなど通所Bにのせていくところはありますか。そういうところがあるとより充実したものになっていくと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】現在、一般介護予防事業の高齢者活躍よりあいどころ事業で、同じような取組みを行う団体等に対する支援を実施しています。まずは、当該団体等の移行を中心に通所Bを整えていければと考えています。

【委員長】ありがとうございました。それでは、今ほど事務局から説明がありました総合事業のなかで、介護予防・生活支援サービスを提供いただいている株式会社イケダ光音堂様に、当該サービス「どれみケア長浜」について説明をいただきます。それでは、お願ひします。

【イケダ光音堂】介護予防・生活支援サービス「どれみケア長浜」について、体験を交えて説明

【委員長】ありがとうございました。ただいまの株式会社イケダ光音堂様からの説明等をふまえて、ご質問等はございますでしょうか。

【委員】ご説明いただいたサービスは介護予防に資する内容になっていると思いますが、参加者が要介護にならないように何か評価などは考えておられますか。

【イケダ光音堂】利用者の評価としては、定期的に基本チェックリストをしていきたいと考えています。また、要支援の方は担当のケアマネジャーがケアプランを立案されるので、個別に連携していきたいと思っています。

【委員】基本チェックリストだけの評価ではなく、「活動」というところがねらいなので、身体の柔軟性とか、そういうところの評価も半年に1回されると良いのかなと思いました。地域の理学療法士さんや作業療法士さんに協力していただいたりすると、より効果が見えてくるのではないでしょうか。

【イケダ光音堂】ありがとうございます。参考にさせていただきます。

【委員長】医療関係からのご助言をいただきました。ありがとうございます。その他、ご質問等はございますでしょうか。

【委員】リズム体操などのDVDを地元のサロンで利用していますが、今ほど体験させてもらった内容のものは、サロン等でもらうことは可能ですか。

【イケダ光音堂】「どれみケア長浜」については、通所サービスとして実施しているものです。ただ、要望があるのであれば、講師派遣として、同じような内容の指導を地域のサロンで実施していくことを、今後検討していきたいと思います。

【委員長】イケダ光音堂様といえば、音楽教室や児童クラブなど、子どもを対象にした取組みをされている事業者でしたが、今回、高齢者向けの取組みを始められたことは大変嬉しく感じます。ぜひとも成功をしていただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、続きまして、次第3の（3）について、長浜市社会福祉協議会からよろしくお願いします。

【委員】（3）生活支援体制整備事業実績報告について、説明

【委員長】ありがとうございました。ただいまの報告・説明をふまえて、ご質問等いかがでしょうか。

【委員】ありがとうございました。生活支援ということで、退職者世代の方々やボランティアさんの活動というのは、お互いを支え合うという面で大変大事なことだと思います。このような取組みは、その方たちが住んでおられる地域外でも活動をされるのでしょうか。

【委員】はい。例えば、びわ男倶楽部で結成された、落語とギターのボランティアグループは大変人気で、市内全域を活動範囲とされています。

【委員】市のホームページを検索したら、令和2年度発行のサロン活動の一覧が掲載されていました。このことも含めて、例えば、こんなことで困っているが誰に頼んだらいいのかという時に、何を見ると良いのでしょうか。そういった情報は発信されているのでしょうか。

【委員】サロンで活用いただける用具類やボランティア活動については社協のホームページに掲載しています。市内では260を超えるボランティア活動があり、その一覧を載せています。レクリエーション用具については、写真を掲載し、用途とともに紹介をしています。

【委員】市のホームページを見ていて、社協という観点がありませんでした。高齢者が市のホームページを見ることは少ないかもしれません、ご家族さんが見られることはあるかと思いますので、リンクを貼り付けるなどされてもいいのではないでしょうか。

【委員長】ありがとうございました。ただいまのご意見について、事務局からいかがでしょうか。

【事務局】生活支援情報の発信の必要性については承知しています。検討していきます。

【委員長】ありがとうございました。その他にご質問等いかがでしょうか。

無いようですので、それでは、委員会全体を通して、委員からよろしくお願ひします。

【委員】事務局から制度の説明をしていただき、大変勉強になりました。聞いていると、介護保険制度の限界というものを感じてしまいました。制度というものはニーズを切り取っているものです。イケダ光音堂さんのサービスなど、要支援者と一般高齢者とを分ける必要があるのでしょうか。つながっていた方が良いと思いますが、国の制度でもありますので、難しいところです。

イケダ光音堂さんもありがとうございました。大変良かったです。このような地域の事業者の活動は地域に根付いていくものなので、大事にしていかなければならないと思います。身近にあつたらしいなで終わらせるのではなく、どう定着させていくのか、地域の住民とどう結びつけていくのかを考えいかなければならぬと思います。本日は良い機会になったのではないでしようか。

私は、長浜市社会福祉協議会の地域福祉のアドバイザーとして15年ぐらい関わらしてもらっていますが、社協の報告を聞いて、以前は、ばらばらであった取組みが、今は、つながっているものになっているなど感じています。社会福祉の構築という面で、行政とは異なる社協の専門性が發揮されているのではないでしようか。

私は、現在、要介護の両親を見ており、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護など、介護保険サービスを利用していますが、介護保険サービスだけでは生活を送ることは難しい状況です。世間では、介護が原因で事件が度々起きていますが、同じ介護者の立場から感じることは、それも仕方がない

ことかなと思ってしまいます。家族介護をベースとした制度は、継続が難しいと感じます。家族は、地域社会の中にあってこそその家族であり、地域社会とのつながりを見ずに個々の家族の頑張りを評価することは意味が無いと思います。認知症がある人たちも近所の人と話すときは、認知症があることを感じさせないことがあります。しっかりとしなければならない、姿勢を伸ばさなければならぬ、と本人が感じることは大事なことだと思います。地域のサロン活動なども含め、介護保険のサービスに換算していくことは難しいものです。今日は、家族と地域と一緒に考えていくことが必要であることを改めて感じました。

本委員会の委員のみなさんは、地域でご活躍されている方々ばかりであり、長浜市全体を見たときには、良く出来ているのではないでしょうか。行政と社協と、上手く役割分担されて進めておられると感じました。ありがとうございました。

【委員長】ありがとうございました。本来なら、全ての委員の皆さんにご意見やご発言をいただけるといいのですが、時間もありませんのでここで終わらせていただきたいと思います。

最後に委員みなさまにお願いでございますが、日ごろから、それぞれのお立場で情報を収集し、また学習いただきまして、地域を支えるための課題検討に対し、次回以降もご協力をいただきたいと存じますので、よろしくお願ひします。

それでは閉会にあたり事務局に進行をお返しします。

【事務局】委員のみなさまには、多くのご意見やご助言をいただきましてありがとうございました。長浜市としましては、令和8年度以降、さらに総合事業を推進し、住民主体型の通所事業の開始に向けて、準備を進めているところです。この委員会の所掌する事務としましては、長浜市全体での介護予防・日常生活支援総合事業の推進方策や体制整備に関して必要な事項について検討を行うことと規定しており、令和8年度以降、この委員会の重要性が増すと考えております。

令和8年度は、第1回会議を7月頃開催させていただき、総合事業等について、より具体的な施策の展開をお示しさせていただくことを予定しております。委員のみなさまには、次年度以降もご協力いただきますように、改めてお願ひいたします。

それでは、これで本日の委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。